

みんなが協力！

複式授業

複式授業とは



先生が5年生につくと ...
6年生は先生不在になります。

算数の複式授業では、同じ教室で同じ時間に、別々に算数の授業をします。どうしても先生がつけない時間ができてしまうので、そのときどうするかがいちばん難しいところだと思います。

自分たちの力で



学習ガイドを中心に自主的に

先生がつけないとき、課題をたてるのにも、問題を解くのものにも**苦勞**をします。しかし、先生の力を借りず**自分たちの力**で取り組まなければなりません。だから、答えが合っていた時やうまく説明ができたときの**喜び**は、いつも大きいです。

五・六年は、五年九人・六年六人、合わせて十五人の複式学級で、算数では複式授業をしています。授業中、先生のいない時間があるので、ガイドを中心に自分たちの力で進めています。

複式授業のよき

正直、自分たちの力だけで授業をするのは、難しいことです。やはり、分からないとき、困ったときには、先生の助けが必要ですが、算数の授業を最後までやりとげた時の**達成感**は他のどの学習よりも大きなものになります。自分たちで、進めようと思えば、**「自主性」と「積極的」**、一人一人がガイドを務めようとする**「責任感」**が身についてきていると思います。

(担当) みま